

之舊也、按本草云、地膽一名蜺青者混言之、別錄舉芫青者析之也、陶言蜺青芫青不同者泥矣、略○中
 按邇波都々之名今不傳、其物未詳、按地膽陶云、狀如大馬蟻有翼、陶云、芫青芫花時取之、青黑色、蜀
 本圖經云、形大小如斑猫、純青綠色、又云、背上一道黃文、尖喙、小野氏曰、地膽今俗呼都知班猫、芫青
 呼阿乎班猫、

〔和漢三才圖會五十二地膽生蟲〕 蜺青 青蠅 杜龍 和名仁波豆豆略○中

按、有毒之藥不可輕用也、而和劑局方者、婆萬病圓中有芫青、石蜺蟻蜈蚣、以毒攻毒、能平治堅結難病
 矣、遠則如砒霜、輕粉、近則大黃、牽牛子之類、亦皆然矣、蓋鋸斫猶瀉藥、鉋斫猶補藥、其所用各有定格、而
 以能用之者爲良匠、

〔重修本草綱目啓蒙二十七地膽〕 二ハツツ和名 ツチハシメウ

舶來ナシ、山中土内或ハ原野石間ニ居リ、時時出行ク、長サ一寸餘、濶サ三四分、色黒クシテ碧光アリ、
 背上ニ短翅アリ、飛ブコト能ハズ、凡ソ斑蝥、芫青、葛上亭長、地膽ノ四蟲、ソノ種自ラ別ナリ、而ル
 ニ本一蟲ニシテ、時ニヨリ所ニヨリテ名ヲ變ズト云説ハ甚ダ誤リナリ、

増、地膽ハ斑猫ノ類ニシテ、行夜ニ似タリ、晝ハ蟄シテ、黄昏ヨリ地上ニ出テ疾行ス、形瘦テ黑色、脊
 ニ蝟ノ如キ堅キ羽アリ、尾ノ端ニ微シク赤斑アリ、稀ナルモノナリ、

芫青
葛上亭長

〔重修本草綱目啓蒙二十七芫青〕 アヲハシメウ 一名芫青東醫寶鑑 元青醫學正傳 蜺青蟲通 正字

今舶來ナシ、間蠻舶來アリ、紅毛語カンターリイ、又ハバンスフリイゲト云フ、バンスハ國名、フリ
 イゲハ蠅ナリ、ソノ形斑猫ヨリ狹小、長サ六七分許、ゼウカイニ似テ小ク、綠色ニシテ金光アリ、腹
 背ノ光多シ、和産稀ニ草木上ニ飛來ルコトアリ、形蠻産ニ異ナラズ、又一種形瘠細ク、黑色ニシ
 テ碧光アルモノハ處處ニ多シ、
 葛上亭長 ヤメハンメウ ヲンニヤウジ 江州 ヲニウジ 同上 長濱 ヒムシ 同上 大塚 ヘムシ 伊州